

# 財務省関税局説明資料



令和8年9月

# 未来を見据えた次世代型税関への変革



Smart and Secure  
Border Control  
Customs Vision 2030

## 円滑な通関等の環境整備

- ▶ 不正薬物等の流入阻止に加え、金密輸の深刻化など、税関を取り巻く課題は多様化・複雑化
- ▶ 適切な水際取締りを実施しつつ、急増する出入国旅客に対して、円滑な通関を実現するためには、税関体制の抜本的な変革が必要

日本の玄関口であり出入国旅客が利用する空海港において、  
「ストレスフリーで快適に旅行できる環境整備」を実施

### 訪日外国人旅行者の急増



先端技術を活用した機器を導入することにより税関検査を**高度化・効率化**しつつ、  
税関申告を**“完全電子化”**することにより、出入国旅客の更なる利便性向上・迅速通関を実現

## 訪日外国人旅行者数6,000万人に対応できる次世代型税関の実現



ウォークスルーでの入国を実現  
～入国旅客の利便性向上～

- ▶ 紙申告から電子申告へ**“完全電子化”**
- ▶ 有人を前提とした対応から電子申告ゲート中心の体制へ移行
- ▶ 申告手続（キオスク）端末の大幅な拡充
- ▶ 関税のキャッシュレス納付手続等の簡素化



税関検査の高度化・効率化  
～先端技術のフル活用～

- ▶ X線CTスキャン検査装置など、より高性能な取締・検査機器の拡充
- ▶ AIを活用したX線画像の解析技術の導入
- ▶ 先端技術を活用した監視カメラの導入
- ▶ AIを活用したリスク分析の精緻化・高度化

# 未来を見据えた次世代型税関への変革



Smart and Secure  
Border Control  
Customs Vision 2030

## ▶▶▶ 訪日外国人旅行者数6,000万人に対応できる次世代型税関の実現

### ▶ 入国旅客の税関申告の完全電子化に向けた環境整備を推進

入国旅客の更なる利便性向上及び迅速な通関を実現するため、入管・税関手続に必要な情報を同時に取得する「共同キオスク」及びウォークスルーでの入国を可能とする「新型電子申告ゲート」の配備拡大を推進する。



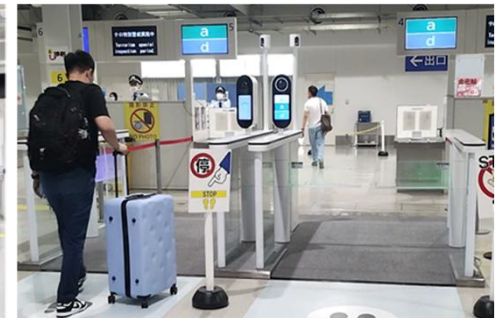
共同キオスク



共同キオスク利用状況



新型電子申告ゲート



新型電子申告ゲート利用状況

### ▶ 税関検査の高度化・効率化により、円滑な通関と適切な水際取締りの両立を実現

効果的・効率的な水際取締りを実現するため、X線CTスキャン検査装置等の高性能検査機器の配備を推進する。



税関検査状況



X線CTスキャン検査装置



3次元画像により  
効果的・効率的に検査



摘発した不正薬物

# 令和8年度事業について

## 【ご議論いただきたい事項】

「国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について」に照らして、今年度実施している事業の継続性、改善点などをどのように考えるか。

※具体的な予算措置については、基本方針等を踏まえた議論を行い、課題の優先順位等も踏まえて予算編成過程において検討。

| 事業名                      | 予算額      | 事業概要                                                                  | 事業スキーム |
|--------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------|--------|
| 税関・入管共同キオスクの追加配備         | 1,040百万円 | 税関・入管手続の重複を解消し、入国手続全体の迅速化を図るため、共同キオスクを主要空港へ配備し、入国旅客の待ち時間短縮及び利便性向上を図る。 | 調査事業等  |
| 新型高性能税関検査場電子申告ゲートの導入     | 3,019百万円 | 既設置の電子申告ゲートについて、機能改善を行った機器への更新及び追加配備を実施し、入国旅客の待ち時間短縮及び利便性の向上を図る。      | 調査事業等  |
| 共同キオスク誘導・操作補助員の配置        | 990百万円   | 共同キオスク利用者への案内・誘導や操作補助を実施し、円滑な旅客流動の確保及び混雑緩和を図る。                        | 調査事業等  |
| 電子申告ゲート・リファンド誘導・操作補助員の配置 | 1,317百万円 | 電子申告ゲート及び出国時の免税手続における案内・誘導、操作補助を実施し、円滑な手続環境を整備する。                     | 調査事業等  |
| 空港等での免税手続にかかる周知・広報及び環境整備 | 287百万円   | 外国人旅行者向け免税制度において、空港等での混雑防止及び免税手続の円滑化のため周知・広報及び環境整備を行う。                | 調査事業等  |

# 今後対応すべき課題と対応の方向性について

## 【ご議論いただきたい事項】

今後対応すべき課題と対応の方向性について、その適切性、改善点等、さらに検討すべき課題をどのように考えるか。

※具体的な予算措置については、基本方針等を踏まえた議論を行い、課題の優先順位等も踏まえて予算編成過程において検討。

※課題に対する対応については、非予算によるものも含め議論。

| 分野 | 課題                                                                                           | 対応の方向性                                                         |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 税関 | 訪日外国人旅行者の増加に伴い、税関における多言語対応の重要性が高まっている。言語の相違により、旅客とのコミュニケーションに支障が生じ、税関手続や検査における旅客の負担につながっている。 | 新型翻訳機を導入し、多言語による迅速かつ正確なコミュニケーション環境を整備することで、円滑な税関手続の実現を図る。      |
| 税関 | 訪日外国人旅行者数の増加に伴い、迅速かつ円滑な通関を確保しつつ、厳格な水際取締りを実現する必要がある。                                          | 高性能な検査機器を整備し、効率的かつ効果的な税関検査を可能とすることで、円滑な通関及び旅客利便性の向上を図る。        |
| 税関 | 入国時の関税等の納付は、キャッシュレス化を推進している一方で、依然として現金納付の割合が高く、現金授受に時間と手間を要しているため、納付手続の自動化を推進する必要がある。        | 特に旅客数の多い空港に現金入出金機を配備し、関税等の納付手続の自動化を推進することで、円滑な通関及び旅客利便性の向上を図る。 |